

# つなぐ

## 秋はみのりの喜びとともに

夏の暑さが厳しかったせいか、急に気温が下がったように思います。体調を崩された方はいらっしゃいませんか？

秋といえば、地域のお祭りや学校の文化祭・体育祭など、行事の多い時期です。私も毎年呼んでいただいています。

学校の行事を見せていただいた時のことです。どの学校も子どもたちが生き生きとしていて、保護者のみなさんの声援も熱い。その中で、先生方やPTAの役員さんを中心とした大人のみなさんが、「裏から支える」という役を一生懸命つとめておられる姿がありました。子どもたちを見守り、成長を喜び、共に楽しんでおられる様子に、この方々に子どもたちが支えられているという安心を感じるとともに、とてもまぶしく、うらやましく感じました。

今日も、公民館の隣の公園であそぶ子どもたちの声が聞こえます。この子たちに実りが多いことが、私たち大人の義務であり、成果であり、喜びなのかもしれません。

館長 清原 弘章

平成 29 年  
秋号  
(通算第 11 号)

発行

(公財) 奈良市生涯学習財団

富雄公民館

奈良市鳥見町二丁目9番地  
0742 (43) 5386



〒631-0065

上田全宏さん(三碓在住)は、戦中の富雄生まれ。寺社の鐘を打つ撞木の製造が全国シェア100%を誇る、上田

技研産業株式会社の社長です。人手が不足する寺社からの要望に応えた、定刻に自動で鐘を打つ『自動撞木』は、今も多くのメディアが取り上げる発明品です。今回は、ものづくりに留まらない経歴を持つ上田さんに、富雄で生まれ育った記憶をたどりながら、お話をうかがいました。

「お芋のおじさん」。子どもたちが呼ぶのは、小学校からのオリエンテーリングの道中に、自作の大釜で蒸かしたジャガイモをご馳走してくれる上田さんのこと。ホクホクを丸ごと頬張る子どもたち。その数、800個。「そのままの形で食べると、食べ物に感謝する気持ちが生れます。」と、上田さん。さらに150本の大根を使って宝山寺の「聖天さんの大根炊き」を振る舞うのが、年末の恒例だとか。これら活動の原点とは？

「戦中の富雄は、大阪からの疎開地でした。戦争が終わっても、米や野菜を求める人が絶えずありました。」物を

## 富雄の発明王と なくなるパン



が十分でないこの時代、上田さんは、ある話に衝撃を受けます。「当時、富雄には3つの教会があつて、私は日曜学校やミサに通っていました。そこで牧師さんから、キリストが分け与える僅かなパンが何千人の飢える人々を満腹にし、与えても与えても無くならなかつたという話を聞いたのです。」この話が不思議でならなかつた上田少年は、いつか自分もやってみようと思ひに決めます。「奪い合つたら、一瞬で無くなる。でも、与え合えば無くならない。40年間、1万人に大根炊きを配っています。本当でしたね。無くならないんですよ。(笑)」奪い合えば無くなる。7年前の震災直後に、都会のスーパ一から一切の商品が消えたニュースを思い出しました。深く頷きながらゆつたりと話す上田さんへ、質問を続けます。

地域の教員を集めた教師塾『三碓村塾』の設立など、教育分野でも、幅広く活動される上田さん。

「世の中を良くするために大事なものは、教育です。大切なのは、自分の子だけでなく他人の子にも愛情をかけること。PTA活動などは、他人の子を大切に練習ができる場。幸せな機会です。」PTAや自治会活

動は面倒ごととされる昨今ですが？「昔、人は群れに属さなければ生きられなかつた。現代社会は仕事の分業化が進んで、自分ひとりで生きていけない」と、近視眼的な損得で考えてはいけませんよ。」



現在 73 歳の上田さんは、依然としてチャレンジの途中だそうです。「今は、木材の搬

出コストを下げるシステムや機械作りに取り組んでいます。奈良県は7割が山林なのに、林業は木材の価格下落で衰退の一途。でも、千年以上も続いた吉野や十津川の村を廃村にしているはずがない。50度もある山の急斜面に、祖先は子孫を想って植林したのですから。」これもまた、自分でなく、誰かのために労を惜しまない上田さんならではの視点。

今回、幾度となく上田さんがおっしゃったのは、「せっかく生まれてきたのだから」。目の前のことに終始せず、全てを「じぶんごと」として真摯に向き合う上田さんの原動力が、この言葉にあるのだと思います。(泉)

## 夏休み！世界のボードゲーム大会

ボードゲームに親しんでもらおうと、8月27日、NPO法人「世界のボードゲームを広める会 ゆうもあ」の協力で開催しました。夏休み最後の日曜日ということもあり、



今年も楽しみにして来てくださった家族や、昼食持ちで一日楽しんでいかれた方など、多くの方でにぎわいました。

## こんなことがありました

懐かしの映画鑑賞

～涼しい公民館でひと休み～

## 『ローマの休日』

お盆前の8月10日、涼しくした公民館で懐かしの名画を楽しんでもらおうと、オードリー・ヘプバーンのデビュー作、『ローマの休日』を上映。次々と映し出されるローマの観光地と、オードリー・ヘプバーンのキュートな魅力を堪能しました。

## こんな講座をやります！

### お申込み方法（1～3のいずれか）

1. 往復はがき  
「講座名」「氏名、ふりがな」「年齢」「性別」「住所」「電話番号」を記入し、富雄公民館へ
2. ホームページ  
「まなぶなら (<http://manabunara.jp>)」の「講座案内」をクリック  
→「富雄公民館」をチェックして「検索」（または下のQRコードを携帯等で読取る）  
→各講座のページの下部にある「参加申込」をクリック  
→必要事項を記入して「確認」をクリック  
→確認画面の下部にある「送信」をクリック
3. 富雄公民館の窓口  
→窓口で専用用紙に記入。  
返信用のはがきが一人一枚必要

ホームページ掲載は11月初旬

11/29 (水) 12/6 (水) 12/13 (水) (全3回) 10時～12時

## 続けられるウォーキングのススメ

「運動習慣づくりは健康づくり」と言われますが、始めるにはどうして良いかわからないものです。まず「歩く」ということを意識して習慣化してみましょ。

「わかってはいるんだけど、なかなかね…」という方にこそ受けて欲しい講座です。

講師：FHA 足と靴と健康協議会 おおき きんじ 大木 金次 さんと、奈良市運動習慣づくり推進員協議会のみなさん

費用：200円

定員：奈良市在住・在勤・在学の、歩く習慣のない人 30人

締切：11/16 (木) (多い場合抽選)

「講座案内」のQRコード  
(ケータイ・スマホで読みとってください)



## ご存知でしたか？

**空きカン、ペットボトル、発泡トレイの回収をしています。**

富雄公民館では、奈良市のリサイクル推進の一環として、空きカン、ペットボトル、発泡トレイの回収コーナーを常設しています。

地域での回収と同じようにして出すことができますが、ビンや飲料用紙パックは回収していませんので、ご注意ください。

また鳥見地域女性防災クラブが月2回、「ふれあい食事会（毎月第3木曜）」などに合わせて、プルタブの回収を行っています。

## 編集後記

先日、富雄公民館の床のワックスがけをしました。お部屋や玄関の床がピカピカになっていくのをご覧いただけただけでしょうか。

近くの公民館で相談をして、それぞれ1回のワックスがけを、職員が集まって行っています。プロの方程手際よくはできませんが、皆さんが使われる姿を思うと、できるだけきれいにしたいと思います。

皆さんも、公民館を使用された後の掃除のとき、次の方が使われることを想像していただくと、自然ときれいになりますよ。